

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	米沢市・高鍋町少女交流事業				開始年度	平成6年度		
基本目標	心豊かな児童・生徒の育成				終了年度			
担当課(局)	教育総務課	担当係	教育総務係	記入者	濱本 生代		評価者	黒水 日出夫
21年度決算	257	千円	22年度予算	1,000	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助	<input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	1,457 千円		22年度人件費	434 千円		事業従事者数	0.20 人	0.06 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	姉妹都市の由縁である秋月、上杉両家の関係や歴史、先人の偉業を学び、故郷を愛する心を育て、心豊かな児童の育成を図る。
事業の内容	米沢市の訪問団(米沢市児童10名、引率者3名)を7月18日から21日、3泊4日の期間でお迎えし、交流を深めた。21年度はホームステイ(1泊)を取り入れ、一層の交流を深めた。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 報告書作成	交流期間を振り返り、交流の思い出を感想文にまとめ(1人2作文)、報告書を作成した。
	2	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 事業説明会の開催	参加児童、保護者を対象に事業についての説明会を行い事業への理解を深めていただき協力を求めた。
	2 事前指導・事業のまとめ	交換用名刺や交流記念のプレゼント作成、高鍋音頭の練習を行い、交流に備えた。また、交流を振り返るまとめの会を開催し、併せて来年の訪問へ向けての意識付けを行った。
	3 保護者の参加	3泊中1泊のホームステイの受け入れや歓迎式、歓迎会への参加、送別会の準備等保護者の協力を得て手作りの交流ができた。

◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度
成果指標	報告書作成	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標	事業説明会の開催	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
	事前指導・事業のまとめ	目標値	2	2	3
		実績値	2	3	
		達成率	100.0%	150.0%	
	保護者の参加	目標値	0	4	0
		実績値	0	4	
		達成率	%	#DIV/0!	100.0%

◎事務事業の評価

妥当性(必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	姉妹都市交流を通して児童の健全育成を図ることを目的とするため、町が行う事業である。 児童生徒を対象にした姉妹都市交流はほかにないため、事業廃止はその機会を失うこととなる。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	子どもたちが自分たちの言葉で高鍋町を訪問団に紹介するために、自分の住む高鍋町について深く学習することや、訪問団とともに諸施設を訪れ説明を受け、事前に学習したことを更に深めることができ、故郷を愛する心を育てることができた。 また4日間行動をともにし、集団行動をとることで思いやりの心を育てることができた。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	事前準備をする過程で交流への期待と意識を高め、充実した交流となった。 ホームステイを取り入れたら、送別会をボランティア、保護者の協力で実施することができたので必要最低限の費用で行うことができた。これ以上の経費削減は難しい。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	21年度はホームステイを実施し、参加児童の家庭で受け入れていただいた。参加児童宅以外のホストファミリーの導入も考えられるが、米沢市を訪問する際には参加児童宅にホームステイすることから、ホームステイは参加児童宅が望ましい。 諸施設でのガイドはボランティアの方をお願いしている。送別会の食事を含めた準備も、ボランティアと保護者をお願いしたので、今お願いしているボランティアを拡充して

事務事業名	米沢市・高鍋町少女交流事業	担当課(局)	教育総務課
-------	---------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	姉妹都市との交流が大事であることはいうまでもありません。今後、この交流事業が、児童にとって社会勉強にもなり、友情の深さにもつながっていくであろうと思われる。将来においても、この交流事業がきっと児童にとって役立つ時が来る事を願っています。	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充				
			現状維持			○		
			縮小					
			廃止					
			廃止	縮小	現状維持	拡充		
			コスト					

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎人材育成の面からも積極的な展開を望む。 ◎予算が確保できれば、学生には広く見聞を広めていただきたい。
	コスト	現状維持	